

令和7年度第4回松江市環境保全審議会

## 松江市環境基本計画(案)

### 説明資料

令和8年3月6日

## (1) 第3回審議会を踏まえた対応について

### ■ 計画（案）の修正箇所（1/2）

発言者	計画（案）ページ	項目	意見の概要	対応（修正等）
山口委員	目次	プロジェクト名の記載について	<ul style="list-style-type: none"> <li>体系図より前のページに、プロジェクト名が出てくるため、計画書のはじめに各プロジェクト名を載せるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目次の続きに各プロジェクト名を記載した図を掲載しました。</li> </ul>
佐藤副会長	P29-30	構想図について	<ul style="list-style-type: none"> <li>まつえ水素活用協議会で紹介された福島県浪江町の「水素タウン構想」のようなものがあると、良いと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画P29, 30に計画内で示した取組などをもとに、「松江市カーボンニュートラル構想」を掲載しました。</li> </ul>
矢田委員	P39-42	体系図について	<ul style="list-style-type: none"> <li>体系図はプロジェクト名だけでなく、具体的な取組まで記載した方がわかりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名、施策、具体的な取組まで記載した体系図としました。</li> </ul>
矢田委員	P47-69	二酸化炭素（家庭部門）の削減に向けた取組について	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭部門からの排出を一番に減らす必要があると思うが、施策が弱いと感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他自治体の施策も参考にしながら検討しましたが、新たな施策の追加は行っておりません。</li> <li>確実に減らすためには行動変容が必要ですので、本計画内において、コラムで行動変容につながる情報などをまとめ、計画の充実を図りました。</li> </ul>
矢田委員	P49, 51	施策の実施による温室効果ガス削減効果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に取り組むことで温室効果ガスがどの程度削減できるのかを示すことはできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策の中には、温室効果ガスの直接的な排出削減につながる取組のほか、意識啓発や環境保全まで様々なものがあります。数値としてお示しすることができる一部の施策については、コラムとして掲載しました。</li> </ul>

## (1) 第3回審議会を踏まえた対応について

### ■ 計画（案）の修正箇所（2/2）

発言者	計画（案）ページ	項目	意見の概要	対応（修正等）
山口委員	P49 ほか	二次元バーコードの活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次元バーコードを活用するのは良いと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご発言のとおり、情報提供方法の一つとして、有効に活用する必要があると考えています。</li> <li>本計画では、二酸化炭素排出比率の大きい「業務その他部門」「家庭部門」の省エネルギーを一層進めるためP49に掲載しています。</li> </ul>
松本会長	P72, 80-81	環境に配慮した取組の追記について	<ul style="list-style-type: none"> <li>「宍道湖シジミのGIマーク取得」や「環境配慮型観光」などについて計画内で追記してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「宍道湖シジミのGIマーク取得」については、コラムとしてP72に追記しました。</li> <li>「環境配慮型観光」については、EVシェアリングサービスのコラムをP80に、シェアサイクルについてのコラムをP81に追記しました。</li> </ul>
松本会長	P78	文言の追記について	<ul style="list-style-type: none"> <li>「防災・減災対策の強化」のところで、「教育」という言葉を入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市民の防災意識とリスク対応力の向上に向けた訓練・教育、情報提供および普及啓発を強化します。」とし、P78の本文中に追記しました。</li> </ul>
佐藤副会長	P83	優良取組の表彰制度について	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の中には、環境に良い取組をした際に褒められる要素が少ないと感じた。建設業でいう優良工事表彰のような制度、仕掛けがあると良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者にも環境に良い取組をさらに実施していただけるよう、表彰制度を検討して参ります。</li> <li>これを実現するため、計画P83の「学習・活動の成果発表と交流機会の創出」に追記いたしました。</li> </ul>

## (2) パブリックコメントについて

---

### ■ 実施概要・結果

- 意見募集期間  
令和8年1月16日（金）～令和8年2月16日（月）
- 閲覧場所  
市ホームページ  
市役所本庁舎（本館3階行政資料コーナー）  
環境センター（2階環境エネルギー課）  
各支所
- 意見の提出方法  
郵送  
ファクシミリ  
しまね電子申請サービス  
持参（持参先：環境エネルギー課）
- 提出意見件数：0件

## (3) 重点取組・目標値の設定について

### ■ 重点取組

- 第3回審議会（R7/12/18）の時点では、本計画における重点取組は設定していませんでしたが、今回提示する計画（案）において新たに設定しました。
- この重点取組は、現行計画（R3.3策定）の重点取組を継承しつつ、さらに新規の取組を反映させたものを「重点取組」として位置づけています。なお、該当する取組については、計画（案）の「施策体系図（P39～42）」および「推進するプロジェクトと取組内容（P45～90）」において、★マークを付け明示しています。

### ■ 目標値

- 第3回審議会（R7/12/18）の時点では、本計画における目標指標のうち、一部の項目については、今後の目標値を設定していませんでしたが、今回提示する計画（案）において新たに設定いたしました。設定においては、これまでの推移状況などを踏まえて、設定しています。
- また、次期計画の改定予定時期（2030(R12)年度）および各指標における算定根拠データの公表時期等を考慮して、設定しました。
- 各指標の目標設定の考え方は、次のページ以降に記載しています。

(※1) 計画策定時ではなく、温室効果ガス排出量の基準年度

(※2) 収集ごみ、自己搬入ごみ、民間資源化処理量の合算値

## 〈 目標値設定の考え方① 〉

		指標	現況値		目標値		目標値設定の考え方
P47	(1)	温室効果ガス排出量【千t-CO2】	H25 (※1)	(※1) 1,719	R9 1,108	R12 910	<ul style="list-style-type: none"> <li>2050(R32)年カーボンニュートラルの達成に向けて、計画(案)P32に記載のとおり、2030(R12)年度の削減目標を設定。</li> <li>次回計画改定時に評価・検証できるように、R9年度の目標値も設定。</li> </ul>
		温室効果ガス削減率【%】		—	R9 36	R12 47	
	(2)	市内の電力消費量に対する再生可能エネルギー発電量の割合(推計)【%】	R5	10.7	R10	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の現況値(R5:10.7%)を、近隣の同規模自治体等の水準(20%)に近づけるべく、今後5年間で10%の増加を目標とする。</li> <li>[参考]米子市(63%)、島根県全体(42.1%)、出雲市(20.8%)、鳥取市(18.1%)</li> </ul>
(3)	市内の登録自動車のうち、環境対応車両が占める割合【%】	30.9		40		<ul style="list-style-type: none"> <li>H25年度以降の推移状況を鑑み、同水準の伸び率(年平均+約2.0%)を維持することを前提とした目標値とする。(H25)8.7%→(R5)30.9%</li> </ul>	
P60	(4)	1人あたりの年間可燃ごみ排出量【kg】(※2)		156		R11	146
	(5)	1人1日あたりのごみ排出量【g】	944	898	<ul style="list-style-type: none"> <li>「一般廃棄物処理基本計画」における排出量の目標値(令和2年度実績951gに対し、令和8年度目標895g)に基づき、年平均9.3gの削減を見込んだ目標値とする。</li> </ul>		
	(6)	1人1日あたりの食品ロス発生量(家庭系もやせるごみ)【g】	34.7	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の減少傾向を鑑み、前計画と同様、5年間で25%の減少を見込んだ目標値とする。(R1)59.1g→(R6)34.7g</li> </ul>		

〈 目標値設定の考え方② 〉

		指標	現況値		目標値		目標値設定の考え方
P60 82	(7)	海岸等漂着ごみボランティア 清掃参加者【人】	R6	4,600	R11	5,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ流行前の水準への回復を目指し、過去の実績値に基づいた目標値とする。 (R1) 5,703人→(R6) 4,600人</li> </ul>
P60 82	(8)	水辺の公共空間活用日数 【日】※R1～R5の累計値	R5	1,475	R11	1,972	<ul style="list-style-type: none"> <li>4期松江市中心市街地活性化基本計画に記載の目標値とする。</li> </ul>
P70	(9)	宍道湖の水質（COD75%値） 【mg/L】	R6	4.6～6.5	R10	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>宍道湖に係る湖沼水質保全計画（第8期）（島根県）に記載の目標値とする。</li> </ul>
P82	(10)	歴史・文化的資源を活用した 環境学習への参加者数【人】	R6	74	R11	100	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ流行前の水準への回復を目指し、過去の実績値に基づいた目標値とする。 (R2) 101人→(R6) 74人</li> </ul>
	(11)	【市民】環境問題への関心がある と回答した割合【%】	R7	85.8	R12	90.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の意識調査結果を踏まえ、今後の啓発活動による向上効果を見込み、年平均+1.0%の増加を基本とした目標値とする。</li> </ul>
	(12)	【事業者】環境問題への関心 があると回答した割合【%】	R7	75.0	R12	80.0	
	(13)	【市民】まつえ環境市民会議 の活動に参加したことがある 方の割合【%】	R7	4.2	R12	10.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年実施の「環境基本計画」改定時の市民アンケートで、まつえ環境市民会議に参加したことがあると回答した数値に回復することを目指した目標値とする。 (R2)参加している：10.2%</li> </ul>
	(14)	【事業者】まつえ環境市民会 議の活動に参加したことがある 方の割合【%】	R7	11.3	R12	15.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民で参加したことがある方の割合と同じ増加率を目指した目標値とする。</li> </ul>